



Press Release

本社問合せ先： Paresh Maniar,
Executive Director, Investor Relations
(408) 470-5348

国内問合せ先： マキシム・ジャパン株式会社
(0120) 231-690

マキシム、開発チームおよび知的財産を **Intellex** に移管し、 **Intellex** の株式を取得

カリフォルニア州サニーベール- 2009年11月5日- マキシム・インテグレートッド・プロダクツ(NASDAQ : MXIM) は、拡張機能 RFID のリーディング企業である **Intellex** と正式合意に達し、マキシムのエンジニアリングチーム、一連の設計成果、および関連する知的財産を **Intellex** に移管しました。代わりに、マキシムは **Intellex** の株式を取得します。加えて、マキシムと **Intellex** は将来、パートナーとして何らかの市場参入活動に参画します。

Intellex の President 兼最高経営責任者である Peter Mehring 氏は、「この契約は、Class 3 RFID のリーダー同士を合体させるものです。この開発能力の拡大と設計アイデアの補完によって私たちは製品ロードマップを加速し、Class 3 RFID 技術のアプリケーションおよび市場でトップの位置を築くことができます。」と述べています。

マキシムの Division Vice President の Chris Neil は「これらの補完的なチームの組合せによって、この新興の Class 3 RFID 技術において明らかなリーダーが生まれます。マキシムのチームは Class 3 の世界規模での規格の定義と開発を先導しており、**Intellex** のチームは拡張機能 RFID 製品開発のリーダーです。」と述べています。

「私たちは、このスピニアウトの組合せを **Intellex** のポジションをさらに強化する自然なものとして理解しています。」と、最近 800 万ドルを **Intellex** に投資した New Venture Partners の Ketan Patel 氏は述べます。「マキシムのチームは **Intellex** と平行して優れた仕事を行っていました。マキシムは、力を合わせることで、さらに遠く、早く、新しい拡張機能 RFID 製品を実現できるようになり、2010 年以降の主要市場にインパクトを与えることでしょう。」

- 続く -

New Venture Partners LLC は 7 億ドルを管理下に所有し、企業技術のスピンアウトに特化したグローバルベンチャーキャピタル企業です。合計 7 名のマキシムのエンジニアが Intellex のチームに参加し、テキサス州ダラスおよび、Intellex の本社が所在するカリフォルニア州サンタクララが拠点となります。

マキシムについて

マキシム・インテグレイテッド・プロダクツは、高性能半導体製品を設計、製造、および販売する株式公開企業です。マキシムは顧客の製品に付加価値となる、革新的なアナログおよびミックドシグナルのエンジニアリングソリューションの提供を使命として設立されて以来 25 年以上になります。今日まで、マキシムが開発した製品の数は 6100 以上に達し、産業機器、通信、民生、およびコンピューティングの各マーケットに製品を提供しています。マキシムは 2009 会計年度に 16 億ドル超の売上げを達成しており、Fortune 1000 企業であると同時に、Nasdaq 100、Russell 1000、および MSCI USA の各指数にも含まれています。詳細は japan.maxim-ic.com をご覧ください。

Intellex について

Intellex は拡張機能 RFID ソリューション、製品、および技術のリーディング企業です。同社のインテリジェント RFID プラットフォームは、高性能マルチプロトコルタグとリーダーにより構成されており、資産トラッキング、車両/操車場管理、製造 WIP 管理、サプライチェーンオートメーション、製品メンテナンス、アクセス管理、その他アプリケーションのためのソリューションを可能にします。標準的なパッシブ RFID をはるかに超えたレンジ、信頼性、メモリ容量、およびセキュリティ、またアクティブ RFID ソリューションの何分の 1 かのコストを特長としています。詳細については、www.intelleflex.com をご参照ください。

###